

想いを束ね、未来へ結ぶ。



東京製綱

ベースプレート式

ロックフェンス





落石による変形・破損や老朽化に伴う取替、
既設擁壁天端への設置に最適です。



コンクリート基礎工事が不要

既設の擁壁にアンカーを使用して固定するため、大規模な擁壁工事や掘削が必要ありません。また、コンクリート施工が不要であるため、冬季間の給熱養生の設備や養生期間を含めた施工日数を大幅に短縮できます。

優れた施工性

支柱をアンカーボルトで固定する方式により大がかりな施工機械等が不要で、短期間で容易に施工することができます。

埋め込み式支柱と同等の性能を発揮

埋め込み式ロックフェンスと同様、以下の外力を作用させ、ベースプレート部およびアンカーボルトを設計することにより埋め込み式ロックフェンスと同等の性能を発揮します。

中間支柱 ●

F_y : 支柱の下端が塑性ヒンジを形成するのに要する力

端末支柱 ●

降伏張力 $T_y (=118\text{kN})$ 2本分とその他のロープに初期張力 ($T_0=5\text{kN}$)

傾斜している場所へも設置が可能

施工場所の勾配にあわせたベースプレート式支柱の製作が可能で、擁壁等が傾斜している場合でも設置することができます。



既設擁壁への設置



傾斜地への設置

支柱の取替手順

1

支柱周囲の基礎を掘削します。

掘削

既存の支柱

擁壁



4

アンカー孔の穿孔を行い、充填材を挿入し、攪拌しながらアンカーボルトを押し込みます。

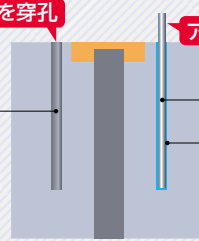
アンカー孔を穿孔

アンカーボルト挿入

アンカー孔

アンカーボルト

充填材



2

支柱を基礎より低い位置で切断します。

支柱切断



5

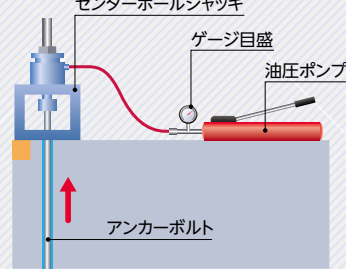
アンカーボルトの軸方向引抜試験を行い定着を確認します。

センターホールジャッキ

ゲージ目盛

油圧ポンプ

アンカーボルト



3

掘削箇所に中詰材(モルタル等)を充填します。

中詰材(モルタル等)充填

中詰材(モルタル等)



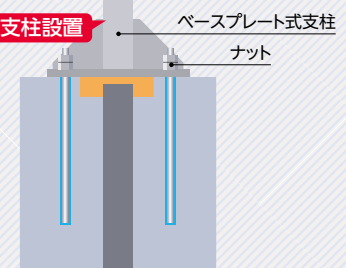
6

ベースプレート式支柱を設置し、ナットで固定します。

支柱設置

ベースプレート式支柱

ナット



設置例



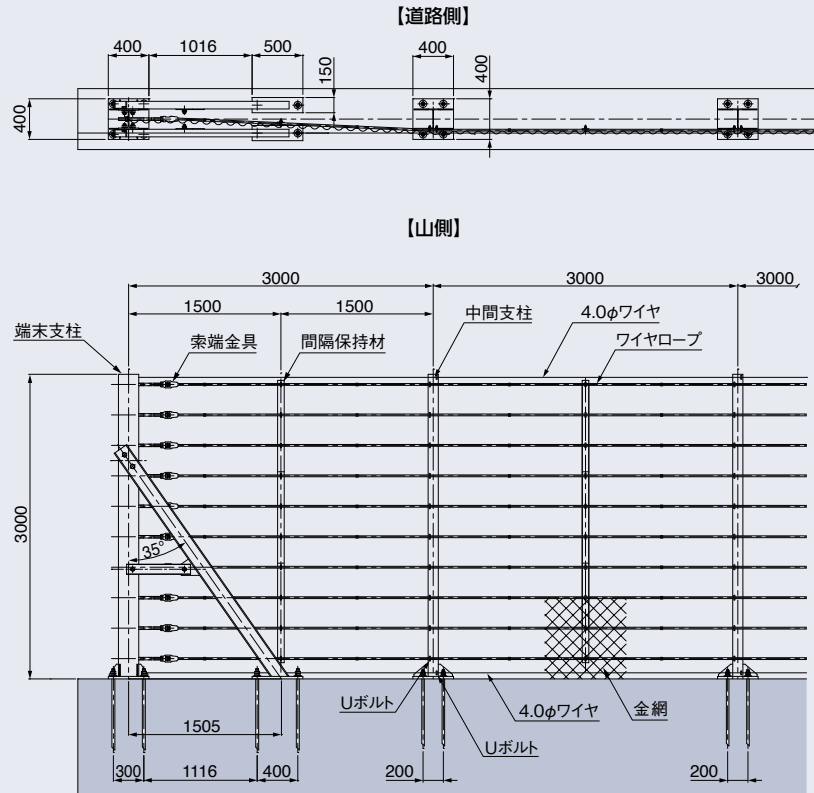
型式仕様

型式	柵高 (m)	金網 (mm)	支柱 間隔 (m)	部材断面 (mm)		間隔保持材使用数量*			
				中間支柱	端末支柱		部材寸法 (mm)	A	B
					支柱	主サポート			
RF-5-BP	1.5	3.2φ×50×50	3.0	H-200×100×5.5×8	H-150×150×7×10	[-125×65×6×8	部材-A 4.5t×65×680	2	2
RF-7-BP	2.0				H-175×175×7.5×11	[-125×65×6×8			
RF-8-BP	2.5				H-200×200×8×12	[-125×65×6×8	部材-B 4.5t×65×980	2	1
RF-10-BP	3.0				H-200×200×8×12	[-150×75×6.5×10	3	3	
RF-12-BP	3.5				H-200×200×8×12	[-150×75×6.5×10			

●柵高3.5mを超える場合は、担当者にお問い合わせください。

※箇所当りの使用数量

RF-10-BP 構造図



東京製網株式会社

事業本部 エンジニアリング事業部

〒135-8306 東京都江東区永代2-37-28(澁澤シティプレイス永代)

TEL.(03)6366-7788 FAX.(03)3643-7550

支店●札幌・盛岡・仙台・名古屋・大阪・九州 営業所●新潟・長野・北陸・広島・鹿児島
エンジニアリングセンター●東日本・関西・北九州

<https://www.tokyorope.co.jp>

●代理店

支店・営業所の詳細

<https://www.tokyorope.co.jp/company/office.html>

